

大谷學報

第四十四卷 第四號

昭和四十年三月三十一日發行

『教行信証』と『浄土文類聚鈔』	
との関聯……………	稻葉 秀賢…(一)
マクベスの「みかけ」と「まこと」	
……………	内藤 史朗…(三)
——シエクスピアの実存——	
十地経論における阿梨耶識と 自性清浄心……………	鍵主 良敬…(六)
——地論宗心識説成立基盤への一考察——	
中世における「シム」の一用法……………	片岡 了…(一〇)
デューイ倫理学に於ける「行為」の 問題……………	武本 正博…(一五)
真宗同学会大会研究発表要旨……………	(一七)
彙 報……………	(一八)
四十四卷論文題目一覧……………	(二〇)

大 谷 大 學
大 谷 學 會

大谷大学研究年報 第十六集

奈良時代に於ける弥陀信仰

.....藤島達朗

名への古代的信仰坂本弘

光台現国論藤原幸章

白居易の文学と仏教平野顕照

—僧徒との交渉を中心として—

大谷学報 第四十四卷 第三号

鎌倉後期の唯識宗富貴原章信

キケロ「スキピオの夢」水野有庸

次第禪門の内方便福島光哉

信教の自由について篠岡博

THE OTANI GAKUHO

(THE JOURNAL OF
BUDDHIST STUDIES AND HUMANITIES)

CONTENTS

Articles :—

- The Relationship between the Two Versions
of Shinran's *Kyō-gyō-shin-shō* : the
Original and the Abbreviated.....*Shuken Inaba* (1)
- 'To Seem' and 'To Be' in Macbeth*Shiro Naito* (12)
—An Existential Phase in Shakespeare—
- Alayavijñāna* and the Mind which is Pure
in Itself in the *Daśabhūmika-sūtra-śāstra*.....*Ryokei Kaginushi* (26)
- A Use of the Adverb "*shimu*" in the
Middle Ages*Osamu Kataoka* (43)
- The Problem of "Conduct" in Dewey's
Ethics.....*Masahiro Takemoto* (56)
- Annual Reports of the Shinshū Dōgakukai (71)

Reports :

PUBLISHED FOR THE OTANI SOCIETY
OTANI UNIVERSITY
KYOTO, JAPAN

大谷學會規程

會務を統理する。

第一條 大谷大學に大谷學會を置く。

第二條 本會は眞宗學・佛教學・哲學・史學・文學並びにこれに關連する學術の研究と、その發表をおこなうことを目的とする。

第三條 本會は前條の目的を達成するため、左の事業をおこなう。

一、季刊「大谷學報」の發行

二、「大谷大學研究年報」の發行

三 研究會及び公開講演會の開催

四、その他必要なる事業

第四條 本會は大谷大學大學院・文學部並びに短期大學部のすべての教育職員及び學生をもつて會員とする。

2、前項のほか、本會の趣旨に賛同し、役員會において承認されたものは、會員となることができる。

第五條 本會に左の役員を置く。

一、會長

二、委員

第六條 會長には大谷大學學長が當り、

第七條 委員は十名とし、教授會において互選する。

2、委員は企畫・編集・出版等の會務を掌理する。

3、委員の任期は二年とする。但し、再任をさまたげない。

第八條 會員は、本會の出版物にその研究を發表し、「大谷學報」並びに「大谷大學研究年報」の配布を受け、本會主催の會合に出席することができる。

第九條 會員の會費は年額金壹千圓とする。

第一〇條 本會の經費は會費をもつてこれに當てる。

2、本會の必要經費については、助成金を受けることができる。

第一一條 本會の事務は、教務課の所管とする。

第一二條 この規程の改正には、教授會の議を経なければならぬ。

附則 この規程は昭和三十七年四月

一日から施行する。

2、昭和二十七年四月一日施行の「大谷學會會則」はこれを廢止する。

大谷學會役員

會長 會我量深

委員 阿部行人 岩見 至 雲井昭善

五来 重 坂本 弘 多屋賴俊

中 久郎 廣瀬 杲 舟橋一哉

山本唯一

昭和四十年三月三十一日發行

大谷學會代表者

編集兼 發行者 松 原 祐 善

印刷者 西村 七兵衛

京都市北區小山上總町

大谷大學内

發行所 大谷學會